



荒川区中がりのデフリンピック 出場選手を応援しよう!

Q1 競技をはじめたきっかけはなんですか?

Q2 選手になって苦労したことは?

Q3 代表選手になった意気込みを!

Q4 区内の小・中学生に一言!

山田瑞恵選手 (卓球)



A1 小さい頃は水泳とダンスをやっていたのですが、中学に水泳部がなくて…。母と姉が卓球をやっていたので、私もやってみようかなって軽い気持ちで始めました。

A2 試合や練習で全く点が入らないとすぐに落ち込んでいました。でも今はそれを笑顔に変えて、成長につなげられるようになりました。

A3 支えてくれたすべての人に感謝を込めて、自分のプレーで恩返しできるよう頑張ります!

A4 スポーツは、できる・できないよりも、楽しむ気持ちが一番大切だと思います。

高田裕士選手 (陸上・ハードル)



A1 高校まで野球をしていましたが、肩を怪我してしまい、大学から陸上を始めました。当時は200m・400mでした。

2012年に初めて出た400mハードルの競技会で好成績を残したことから適性を感じ、400m・400mハードル専門となりました。

A2 専用の練習施設がないところです。競技場が使えない場合は道路や坂、階段などのできる範囲で工夫して練習をしています。

A3 荒川区出身なので、東京開催がとても嬉しいです。家族、友人、これまでお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えられるように精一杯努力して大会に臨みます。

A4 興味があればとりあえずやってみる。失敗を恐れず、積極的にチャレンジすることを大事にしてほしいです。応援しています!

翁孝嘉選手 (ハンドボール)



A1 約2年前、友人に誘われたことがきっかけです。それまで20年間ずっと野球を続けてきました。そこで身につけた投げる力や走る力が、ハンドボールの動きとよく似ていて、「これは面白い!」と感じました。

A2 健常者のチームはプレー中に声を出して連携をとるのに対して、私たち聴覚に障がいのある選手は手話や身ぶりでコミュニケーションをとります。その伝達のスピードに差を感じ、とても苦労しました。

A3 「メダル獲得」というはっきりとした目標に向かって、自分の強みであるフィジカル(体の強さ)、体力、走力をすべて出し切り、チームの勝利に貢献します。

A4 「楽しむこと」が一番大切だと思います。みなさんも、自分の「好き!」という気持ちを大切に、全力で取り組んでみてください。

デフリンピック開催期間
2025年
11月15日(土)~26日(水)

デフリンピック豆知識

デフリンピックは「国際的な耳が聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」です。「デフ」とは英語で「耳が聞こえない」という意味です。

Close-up



子ども議会を開催しました

8月26日、区役所5階の議場で、「子ども議会」を開催しました。

「子ども議会」は、子どもの意見を区の施策に反映させ、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に開催しています。

区立中学校10校の生徒20人が「子ども議員」に選出され、地域のさまざまな課題などについて、区へ提案を行いました。



子ども議会の様子

あらかわ今昔ものがたり



千住宿の商売 ~400年続く街並み~

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234

甲冑が脱げない 天明7年(1787)5月22日、今の南千住、当時の千住小塚原町のとあるお店におおぜいの人々が押しかけた。買い物じゃないよ。お店を壊しちゃおうという人たちが。その内の一人が甲冑が置いてあることに気づき、ふざけて甲冑を着て店を壊したんだって。が、いざ脱ごうとしてもこの甲冑がなかなか脱げない。一緒に店を壊してた人や見物人たちの笑い者になったんだってさ。

天明の江戸打ちこわし これは天明の江戸打ちこわしの中で起こった事件。ん? あ、そうなんだ、大河ドラマでやったんだ。じゃあ知ってるかもしれないけど、この事件の数年前から、全国的に不作が続いてお米が不足した。だからお米の値段が上がって、物価も上がった。幕府の対策もよい効果が出ない。困っている人への施しも行われない。それで起こったのが天明の江戸打ちこわしなんだよ。米屋が不当にもうけている、お金持ちが救済をしない、という理由でこれらの店が壊されたんだって。江戸中で。

千住小塚原町のお店 でも何でその店に甲冑なんかあったんだろう? 勿論甲冑屋さんじゃないよ。いらないうね。甲冑。

実はこの店はお金を貸すのが商売だったんだ。

参勤交代の時にお金が足りなくなった大名にお金を貸したのかも。お金が返ってこなかった時の保証に甲冑を預かっていたんじゃないかな。

千住宿には、参勤交代をする大名や松尾芭蕉のような旅人を相手にする商売と、周りの村に住む人向けのお店が立ち並んでいたんだ。たとえば、さっきのお金貸し。他にも旅籠屋、駕籠屋、薬屋、八百屋、鰻屋、蜷屋…千住宿は今でいう商店街だったんだよ。

江戸時代から続く街並み 千住宿があったのは今のコソ通り。だからここは400年近く街並みが続いている場所なんだよ。残念ながら江戸時代から続くお店はなくなってしまったけれど、眼鏡屋さんとか提灯屋さんとか、100年前からお仕事を続けているお店もある。なんだかすごいね。



「東京名所三十六戯」に描かれた千住宿の街並み(荒川ふるさと文化館蔵)

【お知らせ】荒川ふるさと文化館企画展「千住宿」
期間:11月30日(日)まで